

# 平成24年度 石川地域づくり塾募集要綱

## 1、趣旨

地域が主体になって、地域資源を活用した活力ある地域を実現するためには、地域の推進役となる誇りと愛着を持った地域づくり実践家の存在が不可欠です。石川地域づくり協会では、地域づくりに携わる者の裾野の拡大を図るとともに、地域づくりに取り組む実践家を育成していくことを目的に「石川地域づくり塾」を開講します。

講座内容は、現場において直ぐに役立つカリキュラムに重点を置き、講座を通して団体が目指す方向性や取り組みの具体的な手法等について理解を深める内容となっています。また、一部の講座は公開講座として加盟団体構成員のスキルアップを促すためにも役立つものとなっております。

## 2、主催 石川地域づくり協会

主任講師 赤須治郎 氏

担当講師 石川地域づくりコーディネーター

## 3、事業実施期間 平成24年6月～平成25年2月

## 4、募集人数 10名程度

## 5、対象者及び応募資格

(1) 地域づくり活動を行っている方、地域づくりに関心のある方など、経験不問。

(2) 原則として全講座に参加できる方。(全講座の6回以上を受講された方には修了書を授与します。)

(3) 団体の推薦が受けられた方、又は石川地域づくり協会運営委員・コーディネーターの推薦が受けられた方。

## 6、受講料

原則無料(県内研修地までの往復の交通費、滞在中の昼食・夕食代などは自己負担となります。また、ネットワーキング研修(東京でのコーディネーター研修や地域づくり団体全国研修交流会鳥取大会の参加)では、旅費、参加費などの一部を自己負担していただきます。ただし、県外研修の場合には、参加人数に応じて、往復の交通費及び宿泊料の一部を協会が助成いたします。)

## 7、受講者の義務

(1) 受講後に報告書を提出する。

(2) 受講後は当該団体活動の中核を担う活動を行う。

(3) 受講後は石川地域づくり協会事業に協力する。

## 8、受講者の決定

応募書類をもとに受講者を選考し決定する。結果は通知いたします。

## 9、申込締切

5月31日(木)までに様式1の申込用紙で事務局へ申し込む。

## 10、申込及び問い合わせ先

〒920-8580 金沢市鞍月1-1 石川地域づくり協会(石川県企画振興部地域振興課内)

担当 畝直樹 TEL 076(225)1312 / FAX 076(225)1328

メール [une@pref.ishikawa.lg.jp](mailto:une@pref.ishikawa.lg.jp)

## 石川地域づくり塾開催日程(講師)

回数	日時	場所	内容	講師
①	平成24年 6月 9日(土) 10:30~17:00	石川県青少年総合研修センター (宿泊)	・開講式 ・研修の到達目標の設定	森山奈美氏 (担当講師)
	6月10日(日) 9:00~17:00		・地域づくり塾の企画づくり	濱 博一氏 (担当講師)
②	7月 10:00~20:00	しいのき迎賓館	(公開講座) 「地域づくりデザイン会議」	石川地域づくり コーディネーター 9名(予定)
	1月	各地	「地域づくりデザイン会議」で 受講した中から指導教官を一人 選び、個別訪問、個別指導を受 ける。	
③	未定	東京都 (予定)	地域づくりコーディネーター 研修に参加 (先進地事例を学ぶ、全国の地 域づくり実践家と交流、新たな ネットワークづくり)	谷内 博史氏 (担当講師)
④	9月8日(土)	能登町	石川地域づくり円陣に参加 (運営委員会のオブザーバーとし て運営段階から関わりを持ち ながらオンザジョブトレーニ ングする)	石川地域づくり コーディネーター
⑤	9月28日(金) ~30日(日)	鳥取県立 倉吉未来中心ほか	地域づくり団体全国研修交流 会に参加 (先進地事例を学ぶ、全国の地 域づくり実践家と交流、新たな ネットワークづくり)	仲倉 修氏 (担当講師)
⑥	10月	能美市「能美の里山 ファン倶楽部」	地域づくり活動団体に学ぶ	由田 徹氏 (担当講師)
⑦	11月	小松市「こまつ賑わ いセンター」	地域づくり活動団体に学ぶ	村本 睦戸氏 (担当講師)
⑧	平成25年 2月	石川県青少年総合研 修センター	・研修成果報告会 (受講生の今後の取り組み活 動について)  ・閉講式	赤須治郎氏 (主任講師) 石川地域づくり コーディネーター

## 塾の構成

### 1、塾のイメージ

- ・受講者が当面する課題を解決しながら学べるカリキュラムにする。
- ・各カリキュラムは、受講者が目標を定めて到達点が確認できるものにする。
- ・カリキュラムは受講者の熟度により弾力的に運用する。

### 2、講師陣

- ・石川地域づくりコーディネーターで役割を分担し、得意分野を受け持つ。
- ・視察、体験、交流研修の講師は、現場のリーダー及びコーディネーター。
- ・視察にはコーディネーターが随行し研修内容を充実させる。

### 3、視察研修

- ・事前に的確な視察ポイントを掴み視察後の活用に生かす。
- ・先進事例の表と裏側を視察し、成功の秘訣や失敗の教訓を学ぶ。

### 4、交流研修

- ・日程以外に必要なに応じて塾生同士が研修成果を共有するなどの交流を促す。
- ・卒塾生及び運営委員との交流を通して、士気の高揚やネットワークを広げる。

### 5、体験研修

- ・県内の地域づくり団体の活動に参加し、体験による実践研修を行う。
- ・地域づくり円陣の企画運営に関わり、今後の活動のノウハウに生かす。

### 6、研修成果報告会

- ・研修目標の達成度を検証する。
- ・今後の取り組み活動に研修成果をどのように生かすかについて発表。
- ・次年度の研修についての意見集約。